

立川基地跡地昭島地区

公園等整備計画ワークショップニュース

平成 24 年 2 月 20 日 Vol. 1

昭和 52 年に米軍から返還されたままとなっていた立川基地跡地昭島地区ですが、平成 20 年 6 月に財務省に提出した土地利用計画（平成 22 年 3 月一部変更）に基づき、いよいよまちづくりが行われます。

そこで、緑道や公園など、市民の皆様がご利用になる空間が、愛着がもたれ、かつ利用しやすい憩いの空間となるように、整備計画案を作成するワークショップを開催することになりました。

ご応募いただいた 26 名の方々により、平成 24 年 6 月まで、検討を重ねていただく予定としています。

その第 1 回目ワークショップは、平成 24 年 2 月 12 日（日）に市役所の会議室で開催されました。

第 1 回のプログラム

- 開会
 - ・挨拶
 - ・事務局、スタッフの紹介
- 立川基地跡地の開発事業についての説明
 - ・立川基地跡地昭島地区の土地利用計画
 - ・法務省の施設配置計画
 - ・開発スケジュール
- ワークショップについての説明
 - ・ワークショップとは
 - ・検討箇所
 - ・今後の進め方
- 質問
- 望む機能・空間についての意見交換
 - ・各自の意見の書き出し
 - ・グループ内で意見交換
 - ・グループ発表
- 閉会

《 2 回目以降の開催予定 》

開催日等	内容
第 2 回 H24. 3. 4（日）	・視察 ・検討グループの決定
第 3 回 H24. 3. 25（日）	グループ討議 ・望ましい姿の整理 ・発表
第 4 回 H24. 4. 22（日）	グループ討議 ・計画図の検討 ・発表
第 5 回 H24. 5. 20（日）	グループ討議 ・計画図の確認 ・意見交換、発表 ・方向性の確認
第 6 回 H24. 6. 24（日）	グループ討議 ・最終案の確定、発表

次回は… 平成 24 年 3 月 4 日（日）

内容

現地や市内及び近隣の公園や緑道などの事例の見学

グループ発表の内容

公園や緑道等に望む機能・空間

【公園】

- ・防災ベンチやトイレ、公衆電話を設置し、災害時にも使えるような公園
- ・富士見通りの歩行空間となる連続性のある園路
- ・視界が開け、園内灯や防犯カメラを設置し、安全性の高い公園
- ・シンボルツリーや大きな木、林
- ・基地跡地の桜を移植した桜公園
- ・遊具
- ・車いすの方も使えるようなバリアフリーな公園
- ・多少の起伏が有り、散策が楽しめる公園
- ・四季に応じて楽しめる公園
- ・清流
- ・自治会としても使えるもの
- ・雨水の地下浸透

【緑道等】

- ・緑道は、自転車の入らない歩行者のみの空間
- ・水ハケがよいもの
- ・のり面は芝桜などで緑でグラウンドカバー
- ・防犯性の確保（街路灯の設置、植栽の配慮）
- ・一定区間のエリア毎に特色をもたせる
- ・車いすの方も使えるようなバリアフリーな空間
- ・電線の地中化
- ・可能な既存樹木の活用
- ・緑が生い茂る時期でも明るさの確保
- ・自転車専用空間の整備
- ・雨水の地下浸透

【その他】

- ・今回検討箇所以外にも基地跡地内にできる公園相互のバランス
- ・地域に交番の新設
- ・移動図書館の巡回